

平成19年度 事業評価書

地域名	徳島県上勝町	選定年度	H16年度	事業規模	小規模事業
まちづくり協議会名	上勝町エコバレー推進協議会				
モデル事業名	上勝町脱化石原料とゼロウェイストアカデミー事業				

1. 事業の実施状況

委託事業	事業期間	H16年度	普及啓発事業として、ゼロ・ウェイストアイデアの募集や、ゼロ・ウェイストスクール及びバイオマスシンポジウム等を開催。また、間伐材の持ち込みに応じて発行するエコマネーの実証実験を実施。
		H17年度	普及啓発事業として、ゼロ・ウェイストスクールやセミナーを開催したほか、普及啓発用パンフレット等を作成。
		H18年度	普及啓発事業として、木質バイオマススクールやシンポジウムを開催したほか、普及啓発用パンフレット、地域環境資源マップを作成。
	事業完了後	H19年度	事業完了後であるが、引続き木質バイオマススクールを上勝中学校において継続実施している。
交付金事業	事業期間	H16年度	チップボイラー導入事業として、チップボイラーを導入。
		H17年度	チップボイラー導入事業として、チップボイラーを導入。 チップ生産システム導入事業として、破砕機を導入。
		H18年度	薪ストーブ導入事業として、薪ストーブを導入。
	事業完了後	H19年度	事業完了後であり、事業は実施していない。

2. 評価・分析

①事業の特色・モデル性	<p>従来から取り組んでいるごみの削減に加え、資源の有効活用という観点から木質バイオマスの利活用に取り組んでいる。木質バイオマスについて、地域全体の取組となるよう、ハード整備に加え、ソフト事業との連携を強化していく必要がある。</p> <p>チップボイラーを町で率先導入するとともに、地域の未利用木質資源をチップ化する設備を併せて整備することで、木質バイオマスの地域内循環システムの構築を目指すものであり、今後の取組の進展に期待する。</p> <p>間伐材を市民が持ち込み、エコマネーを発行して地域活性化につなげるなど、継続する仕組み構築への努力を評価する。</p> <p>早くからごみ問題、環境問題に取り組んできた町らしい積極的な取組であり、チップボイラーの運用上の問題も研究しており、評価できる。</p>		
②環境保全効果 (二酸化炭素排出削減効果等)	二酸化炭素排出削減効果	備考	
	目標値	570.6	H16年度、H17年度、H18年度事業分
	実績値	201.1	H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH19年度稼働実績 (目標値・実績値単位:t-CO <sub>2</sub> /年)
③経済活性化効果	<p>・チップボイラー関連事業 年間削減目標達成率が低調であるが、原因として、保温に必要な稼動に重油を使用している点、温泉のエネルギー使用量が当初予測を下回った点等がある。改善への努力がみられるため、その効果に期待する。</p>		
④その他	<p>・チップボイラー関連事業 チップボイラー導入事業について、設備導入に伴う重油代削減効果が得られている。また、地域の関心の高い課題である「間伐材の有効活用」による森林再生に直結する事業であり、林業関係者にも少しづつではあるが効果の発現が見られており、効果を評価したい。</p> <p>町の方々も、積極的に間伐に取り組むよう、引取りのエコマネーや、ソフト定着システムの継続状況等をもっと積極的にアピールしてもいいのではないかと。</p>		